

## 帰国する中国武漢市の在留邦人に対する東京都としての対応

### 1 武漢市の在留邦人の状況

710名（外務省公表数）

### 2 国による対応

#### ○ 在留邦人の移送

・国チャーター機による移送（武漢天河国際空港 → 羽田国際空港）

#### ○ 空港検疫所による確認

・サーモグラフィー等による体温確認、健康カードチェック

### 3 都の対応

#### ○ 空港検疫後の帰国者への対応

A 発症者・発症疑い者については、東京消防庁の救急車により都立・公社の入院受入可能病院へ直ちに搬送

B 検疫後、問題のない方については、都立・公社病院（都立松沢病院、都立神経病院を除く）において希望する方に対し健康相談等を行う。病院への移送については都交通局的観光バスを活用

（約40名×最大8台＝320名）

#### ※入院受入可能病院

- ・感染症に対応する陰圧の可能な病床を有する都立・公社4病院（公社荏原病院、公社豊島病院、都立駒込病院、都立墨東病院）
- ・病床数4病院50床程度

#### ※健康相談等対応病院

- ・都立・公社病院（都立広尾病院、都立大塚病院、都立駒込病院、都立墨東病院、都立多摩総合医療センター、都立小児総合医療センター、公社多摩北部医療センター、公社豊島病院、公社東部地域病院、公社大久保病院、公社多摩南部地域病院、公社荏原病院）

○ 空港検疫等について、国の要請に基づき都立病院等の医師等を派遣

○ 邦人移送の機内で配布する帰国者用健康管理リーフレットの提供（帰国後の保健所等での相談対応等を案内）